

所報 いぶり

胆振教育研究所
第5号

令和3年3月4日発行

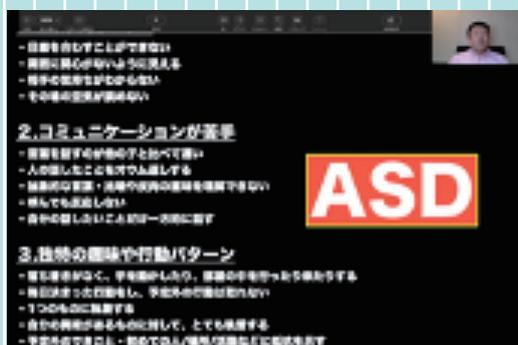
冬季研修講座

～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級経営～

今年度も江別市立大麻小学校教諭の高杉祐之氏を講師に、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級経営」を目的とした講座をオンデマンド形式で行いました。講座には、胆振各地から70名近くの先生方が参加され、講義を通して研修を深めました。

参加者の声

昨年同様、とても分かりやすく楽しく研修しました。どの話題でも担任している学級の子が頭に浮かびました。「話を端的に繰り返して」や「そ」から始まる言葉で共感を表すなどは、明日からでもすぐに活用します。

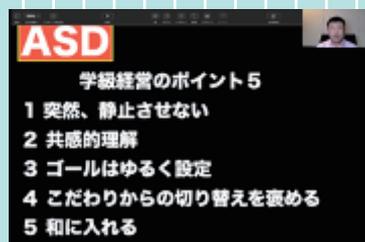


参加者の声

ユニバーサルデザインの「全ての児童生徒にとって…」という点は、今後の学級経営で絶対に考えていかなければならない点であると考えていたため、非常に参考になりました。

参加者の声

「子どもたちは一人の例外もなく大切にしなければならない」という言葉が心に響きました。子どもたちの最大の教育環境は教師自身であるということ、改めて肝に銘じて、子どもたちにかかわっていくことの大切さを強く感じました。



ホームページも合わせてご覧ください。



所長挨拶

今年度の所報1号に、「今こそ各校の実践をつなぎ、高め合うために取り組んでいく」という決意を書きました。1年間の本研究所の取組は、皆様の期待に十分応えることができているのでしょうか。

私たちは、2市7町各校から学び、「今の学校に求められていることは何か」、「実際に現場が求めていることはどんなことか」という2点を大切にしながら、学校訪問や刊行物の発行、研修講座の開催に取り組んでまいりました。もし私たちの取組が皆様方の思いと響き合い、各校の研究や実践に寄り添うことができているとしたら、これほどの喜びはございません。

世の中の急速な変化に伴い、学校は今まで以上に時代の要請に見合った教育を担うこととなっていきます。だからこそ私たち研究所は、学校が進むべき道を皆様と確かめ合い、各校が研究や実践を通して繋がり合い高め合うことに一層力を入れてまいります。研究所は皆様とともにあります。皆様方のよきパートナーとして努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

胆振教育研究所長 野崎 均